



日本住を快適空間!

ダンネット通信

2010.Winter vol.67

発行：株式会社ダンネット 〒070-8045 北海道旭川市忠和5条4丁目9-17 TEL(0166)61-9151・FAX(0166)61-2044

今月のトピックス

エコポイントなどで絶好の住宅取得期到来

80万戸割れで45年ぶりの低水準となった昨年の新設住宅着工。この住宅不況からの回復を目指し、国では今年、住宅版エコポイントの実施や住宅金融支援機構の長期固定金利ローン・フラット35Sの金利引き下げなど、エンドユーザーの住宅取得を積極的に後押しする政策を実施します。家を建てるにはまたとない絶好の1年となることは間違いないでしょう。

最大30万円相当のポイント還元

まず注目されるのが、住宅版エコポイント。すでに昨年から家電版が実施され、馴染みもあるだけにエンドユーザーからの問い合わせが出てきているという住宅会社も少なくないようです。

この制度は国が定めているトップランナー基準(住宅事業主基準)、または木造であれば次世代省エネ基準に適合する新築住宅を“エコ住宅”、次世代省エネ基準に適合する床・外壁・天井・窓のリフォームを“エコリフォーム”と呼び、それぞれ商品券や環境配慮型製品などと交換できるポイントを建て主に与えるというもの。

エコ住宅の新築であれば規模にかかわらず30万円相当。エコリフォームは外壁や窓など、どこか部位をどれだけ改修するかによってポイントは異なり、同時に行うバリアフリー改修にもポイントが与えられますが、新築と同様に最大で30万円相当となります。

もらったポイントは即時交換も可能で、新築やリフォームに追加して行う別の工事費用にポイン

トを充てることもできます。新築なら外構工事など、リフォームなら同時に行うキッチン・浴室のリフォームなどに充てることが考えられます。

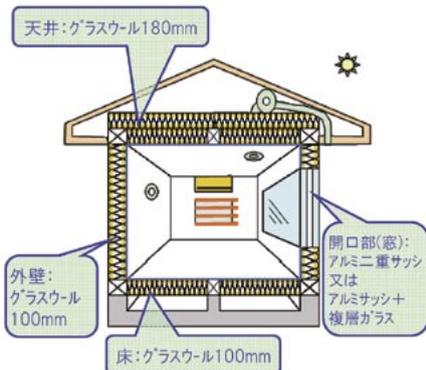
総支払額がお得になるフラット35S

また、フラット35Sの金利引き下げも魅力。当初10年間の金利が1%引き下げとなるので、借入額2,000万円でも金利2.6%の30年返済とすると、金利引き下げがない場合と比べて総支払額は約200万円も少なくなる計算です。

このほかにも、平成22年度税制改正で新築やリフォーム・増改築のために両親からもらった資金にかかる贈与税の非課税額が拡大される見込み。中高齢者の預貯金を若い世代の住宅取得に回すことで景気を刺激する考えで、非課

税額は現行の610万円から2,000万円程度になりそう。

これらの制度の内容をエンドユーザーにわかりやすく説明できるよう十分理解し、いつでも対応できるよう準備をしておくことが、今年の新築受注のポイントになるのではないのでしょうか。



エコポイントの対象となる住宅の断熱仕様のイメージ(東京などIV地域の木造住宅の場合)

特集 新透湿外断熱システム『パッシブウォール[®]透湿タイプ』登場

地球温暖化など環境問題への対応として、耐久性・省エネ性に優れた住宅が求められるようになってい
る中、(株)ダンネットではアクリル樹脂をベースとし、耐久性・意匠性に優れた高品質な透湿外断熱システム『パ
ッシブウォール[®]透湿タイプ』の販売を開始。手間をかけることなく湿式外装のテクスチャーと外断熱を
同時に実現する純国産のシステムとして、積極的に普及を進めていく考えです。

日本国内で研究開発・製造を実施

『パッシブウォール[®]透湿タイプ』は透湿外断熱の分野で先行している欧米の透湿理論・システ
ムに基づき、国内で研究開発・製造が行われている透湿外断熱システム。

このシステムは、躯体の屋外側に断熱材のビー
ズ法ポリスチレンフォーム（EPS）の断熱ボード
を施工し、その上から水性アクリルベースの樹
脂モルタルであるベースコートで下地を造り、グ
ラスファイバーメッシュを伏せ込みます。後は開
口部回りや入隅・出隅などをシーリングで処理し、
最後にアクリル共重合樹脂水性仕上げ塗材のトッ
プコートで外装仕上げを行って工事は終了です。

すべての素材に透湿性があるため通気層は不要
で、その分だけ施工手間・工期も短縮。外装仕
上げはかき落としを始め一般的な左官仕上げと同様

のテクスチャーを表現することができ、カラーバ
リエーションも豊富に用意されているので、オー
ナーの好みに合わせ世界で一つだけのオリジナル
な外装仕上げを提案可能としています。

耐クラック性・耐候性などに優れる

このような施工性・意匠性の高さに加えて、優
れた耐久性を有していることも見逃せません。

特にトップコートは耐クラック性・耐候性・耐
汚損・防藻性・防カビ性に優れているのが大きな
特徴。左官など一般的な湿式仕上げで気になるク
ラックは、JISに基づく可とう性試験を行い、
曲げたりたわませたりしても、ひび割れやはがれ
がないことを確認。無機系顔料の使用により色落
ちがきわめて少ないほか、防藻・防カビ作用によ
って藻やカビも長期にわたって繁殖を防ぎます。
また、塗膜表面は水に馴染みやすい高親水性のた

め、汚れが付着しても雨水と一緒に流れてしま
います。

住宅が長期にわたって使われるためには、構造
的な耐久性はもちろんですが、美観が損なわれな
いことも住み手にとっては重要なこと。その点、
『パッシブウォール[®]透湿タイプ』は高耐久住宅
にとって最適な選択肢と考えられそうです。

このほかにも、グラスファイバーメッシュには
耐アルカリコーティングを施し、断熱ボードは自
己消化性を持たせるなど安全性も高く、安心して
採用することができます。

木造への対応はこれから

現時点ではRC造のみの対応となりますが、木
造にも採用できるように検証・試験を行っていく
考えで、あらかじめEPSにベースコートを施し



トップコートによる仕上げの例

たプレコーティング断熱パネル（そとだんパネ
ル）もリニューアルする予定。施工はダンネット
による責任施工で、設計価格は断熱厚 50 mm で 1 万
3,000 円 / m²程度を予定しています。

詳しい問い合わせは外断熱事業部（☎
011-875-3969）まで。

商業ビルを外断熱改修

～札幌すすきの・ネクストビル～

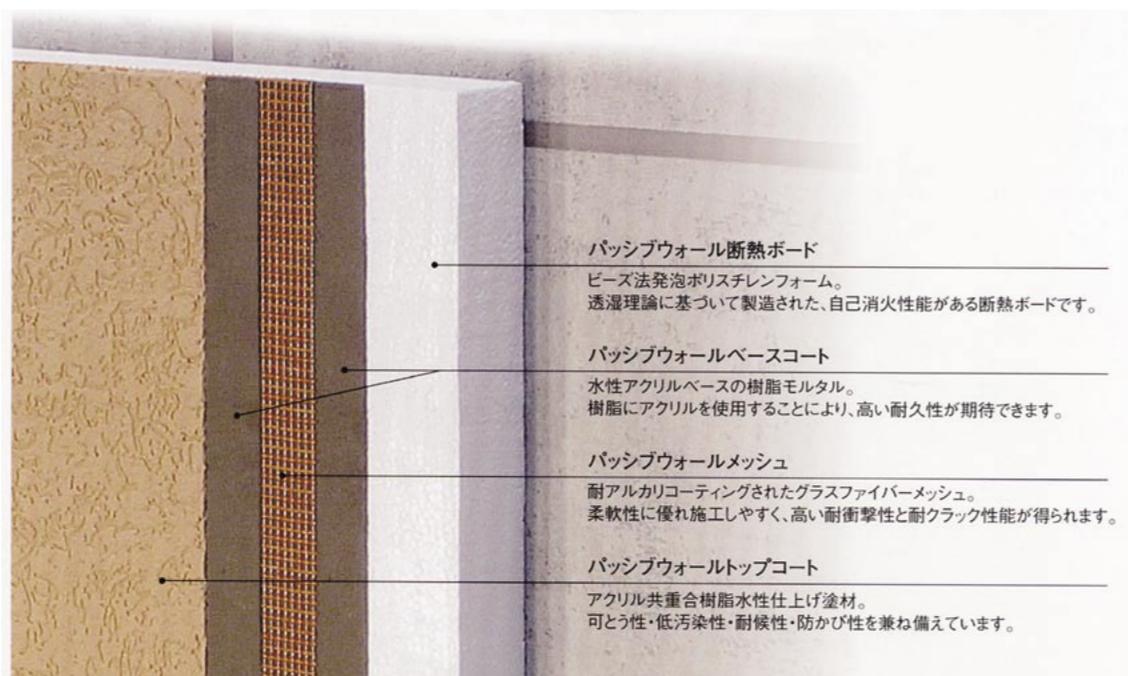
(株)ダンネットでは、北海道一の歓楽街・札幌すす
きの商業ビルとしては初となる外断熱改修を実施。
湿式仕上げの下地施工済み断熱パネルを用いるこ
とによって、シンプルモダンな湿式外装仕上げと
断熱性能の改善を短い工期で実現しました。

この商業ビルの名称は「ネクストビル」。地上
6階・地下1階の鉄骨造で、外装はALCでしたが、
築20年を過ぎ、外装の化粧直しを行う時期
となったことから、オーナーが改修を検討。ダン
ネットでは環境問題の深刻化などを考慮して省エネ
につながる外断熱改修を提案したところ、オー
ナーも理解を示してくれました。

施工は接着剤とビスを併用して断熱材のEPS
をALC外装の上から固定。EPSにはすでに湿
式仕上げの下地が施されているので、その後は仕
上げ材を上塗りするだけ。職人は常時3人、仕上
げなどは5人で作業を行い、一般的な改修であ
れば2ヵ月かかるところを1ヵ月で工事終了と、
とてもスピーディに行うことができました。



札幌すすきのの歓楽街に建つ「ネクストビル」。湿式
仕上げによるシームレスな外装仕上げが印象的



パッシブウォール断熱ボード
ビーズ法発泡ポリスチレンフォーム。
透湿理論に基づいて製造された、自己消火性能がある断熱ボードです。

パッシブウォールベースコート
水性アクリルベースの樹脂モルタル。
樹脂にアクリルを使用することにより、高い耐久性が期待できます。

パッシブウォールメッシュ
耐アルカリコーティングされたグラスファイバーメッシュ。
柔軟性に優れ施工しやすく、高い耐衝撃性と耐クラック性能が得られます。

パッシブウォールトップコート
アクリル共重合樹脂水性仕上げ塗材。
可とう性・低汚染性・耐候性・防カビ性を兼ね備えています。

『パッシブウォール[®]透湿タイプ』の構成図。いずれも耐久性が高く透湿性を有する材料が使われている



陸屋根の勾配は 1/50 以上なければダメ？

Q…住宅瑕疵担保法の瑕疵保険は、陸屋根（フラット屋根）とする場合、勾配は 1/50 以上必要と聞きました。当社は

1/100 勾配で施工することもあるのですが、その場合は瑕疵保険を利用できないのでしょうか？

A…瑕疵保険は昨年 7 月に設計施工基準が統一され、陸屋根は 1/50 以上の勾配を取ることと、防水材は金属板（銅板）葺きなど 6 種類の中から採用することなどが定められました。

この基準統一により、木造でも陸屋根が全国的に採用可能となりましたが、一部の地域では 1/100 勾配が標準的となっていることもあり、戸惑う住宅会社さんは少なくないようです。

この件について国では「小屋組木材の乾燥収縮が起こっても、屋根面が雨漏りの原因となる逆こう配にならないよう 1/50 以上とした」と回答していますが、一方では「ただし、絶対に 1/50 未満では施工できないということではない。雨漏りのリスクが少ない仕様だと保険法人が認めれば、設計施工基準の第 3 条の適用により施工できる。



防水性に優れる改質アスファルト系シートを下葺きした北海道の陸屋根（スノーダクト仕様）。このように雨漏りの不安がない仕様として納まり図を提出すれば、1/50 未満の勾配でも保険適用可能かどうか判断してもらえる

その場合は、雨漏りを防ぐためにどんな工夫をするのかを示してもらうことになる」とのこと。

設計施工基準の第 3 条とは、「基準外でも保険法人が特別に認めたものは保険適用を認める」というもの。例えば小屋組木材に集成材など乾燥収縮が起こりにくい材料を使用したり、屋根面が逆勾配になっても雨漏りしないよう防水性に優れた下葺き材を採用した納まり図などを提出、または屋根板金業者等が 1/50 未満の勾配で施工できるマニュアルを用意しているのであれば、そのマニュアルを提出すれば、第 3 条の適用が可能かどうか、保険法人に判断してもらうことができます。

●編●集●後●記●

◆バンクーバーオリンピックが近づいてきました。北海道ゆかりの選手も結構多いので、応援にも力が入ります。一方、国内外の経済情勢は決して楽観視できないように思います。住宅施策もエコポイントや減税など行われますが、本格的なテコ入れになるか注目しています。（佐野）

◆札幌の大通公園では冬の一大イベントである「雪まつり」が行われ、過去最高となる大勢の観客で賑わいました。市場が大きく縮小した住宅業界も今年は雪まつり同様、多くの消費者に振り向いてもらえる 1 年になることを期待しています。（水越）



株式会社ダンネツ

ホームページURL <http://www.dan-netso.co.jp/>
E-mail アドレス info@dan-netso.co.jp

「快適な住まいづくり」はお任せ下さい！

●フローイング工事各種 ●外断熱工事 ●気密工事
●ウレタン吹付工事 ●断熱建材製造販売 ●住宅性能診断

■本 社	〒070-8045 旭川市忠和 5 条 4 丁目 9-17	TEL(0166)61-9151 FAX(0166)61-2044
■旭川第一工場	〒071-1248 上川郡鷹栖町 8 線西 2 号	TEL(0166)87-4442 FAX(0166)87-4888
■旭川第二工場	〒070-0014 旭川市新星町 5 1 4 番地 1	TEL(0166)21-7080 FAX(0166)21-7080
■札幌支店	〒003-0869 札幌市白石区川下 2127 番地 4	TEL(011)875-3966 FAX(011)875-3971
■外断熱事業部	〒003-0869 札幌市白石区川下 2127 番地 4	TEL(011)875-3969 FAX(011)871-3502
■ウレタン事業部札幌事務所	〒003-0869 札幌市白石区川下 2127 番地 4	TEL(011)875-3972 FAX(011)875-3974
■旭川支店	〒070-8045 旭川市忠和 5 条 4 丁目 9-17	TEL(0166)62-7575 FAX(0166)61-1715
■帯広支店	〒080-2460 帯広市西 20 条北 2 丁目 27-10	TEL(0155)41-4101 FAX(0155)41-4105
■釧路支店	〒088-0621 釧路郡釧路町桂木 5 丁目 15	TEL(0154)36-1790 FAX(0154)36-1844
■北見支店	〒099-0878 北見市東相内町 174 番地 16	TEL(0157)36-3557 FAX(0157)36-3433
■北関東支店	〒362-0047 埼玉県上尾市今泉 1 丁目 27-4	TEL(048)783-1666 FAX(048)783-1667
■千葉支店	〒262-0011 千葉県千葉市花見川区三角町 16 番 2	TEL(043)258-4065 FAX(043)258-4025
■宇都宮支店	〒321-0932 栃木県宇都宮市平松本町 362-6	TEL(028)636-1266 FAX(028)636-2675
■平塚支店	〒254-0018 神奈川県平塚市東真土 4 丁目 2-69	TEL(0463)54-6484 FAX(0463)54-2430
■水戸支店	〒310-0841 茨城県水戸市酒門町字西割 4312-3	TEL(029)248-6761 FAX(029)248-6762
■ウレタン事業部東京支店	〒351-0002 埼玉県朝霞市下内間木 301 番地	TEL(048)458-1455 FAX(048)456-3877
■ダンネツ信州	〒399-0033 長野県松本市大字笹賀 5130-1	TEL(0263)26-0811 FAX(0263)26-1016